

令和5年度

R5.11 改定

利用ガイド



独立行政法人 国立青少年教育振興機構



国立大雪青少年交流の家

National Taisetsu Youth Friendship Center

ナキウサギに恋しちゃう大雪♥感動体験！



目次（利用ガイド編）

- ・ 国立大雪青少年交流の家とは
- ・ 国立大雪青少年交流の家 運営方針

I 国立大雪青少年交流の家について

- 1 大雪青少年交流の家とは 3
- 2 利用について 4

II 利用に必要な手続き

- 1 受付開始の時期 5
- 2 利用申込手続きの流れ 5・6
- 3 利用料金について 6・7

III 交流の家での生活

- 1 標準生活時間 8
- 2 持ち物 8
- 3 入所について 8
- 4 つどいについて 9
- 5 リーダー会議について 9
- 6 入浴について 9
- 7 活動について 9
- 8 食事について 10・11
- 9 生活環境について 12・13
- 10 宿泊に関わって 14・15・16
- 11 退所について 17
- 12 安全管理について 17・18
- 13 関係機関連絡先一覧 19

国立大雪青少年交流の家とは

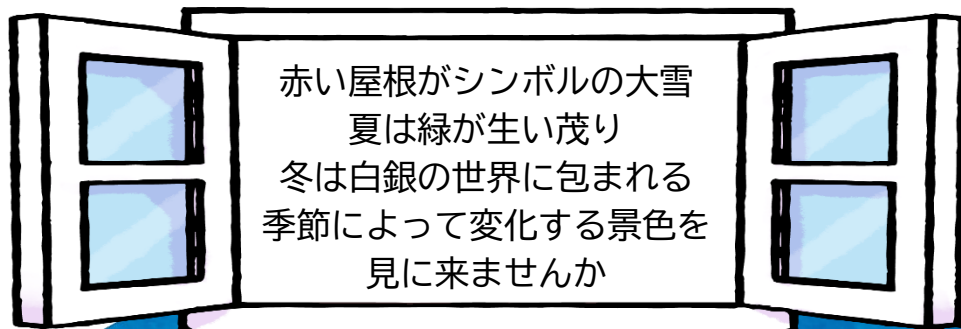
「また来たい♡」があふれる施設を目指して

ナキウサギは空気がきれいな大雪山系の森林に生息しています。
溶岩によってできた風穴（ふうけつ）がすみかになっています。

「大雪」は北海道の中心に位置し、開所からもうすぐ 60 年になります。
私たちは今日まで、青少年の集団宿泊や登山、スキーをはじめとする体験活動をサポートしてきました。

近年、子どもたちを取り巻く環境の変化などにより、
体験活動も多様なものとなりました。
そこで、私たちはこれまで以上に子どもたちの「心がうごく瞬間」を大切にしていきたいと思います。
「やってみたい」と思う気持ちを引き出し、自ら考え挑戦できる場にしていきます。

恵まれた自然環境と人々との共生を図りながら、地域に愛される場を目指して連携し、共に成長していきます。



国立大雪青少年交流の家 運営方針

私たちは国立大雪青少年交流の家の職員は、以下のようなことを大切に利用者視点にたって活動をサポートします。

- ①大雪の自然を生かし、心がうごく体験活動を通して、青少年の成長をサポートします。
- ②地域に愛される場、青少年が自ら挑戦できる場を目指します。
- ③安全・安心は全ての活動の原点と考え、体験活動を提供します。
- ④公平・公正で透明性の高い事業を目指します。
- ⑤より多くの方が体験活動ができるよう工夫し、発信していきます。
- ⑥常に勇気をもって、新しいことに挑戦します。
- ⑦地域社会と連携し、共に成長します。



I. 国立大雪青少年交流の家について

01 大雪青少年交流の家とは

国立大雪青少年交流の家は日本最大の面積を誇る「大雪山国立公園」にそびえたつ十勝岳山麓に位置し、その恵まれた自然環境の中で、グループや集団での自然体験、交流体験、芸術、文化体験など様々な体験活動を行うことができる青少年教育施設です。

当施設は、自然体験や集団宿泊体験などの体験活動や研修活動を通じて、青少年の健全育成を図ることを目的としています。このため、利用にあたっては、団体ごとに活動計画を作成し、標準生活時間に基づいて活動していただきます。職員一同、次代を担う青少年の健全な育成を目指し、皆様の活動を、心を込めてサポートいたします。

大雪青少年交流の家が大切にしている「3つ」のこと

○安全と健康

規則正しい生活が安全で、健康な生活をつくります。
早寝・早起き朝ごはん、豊かな生活をつくります。

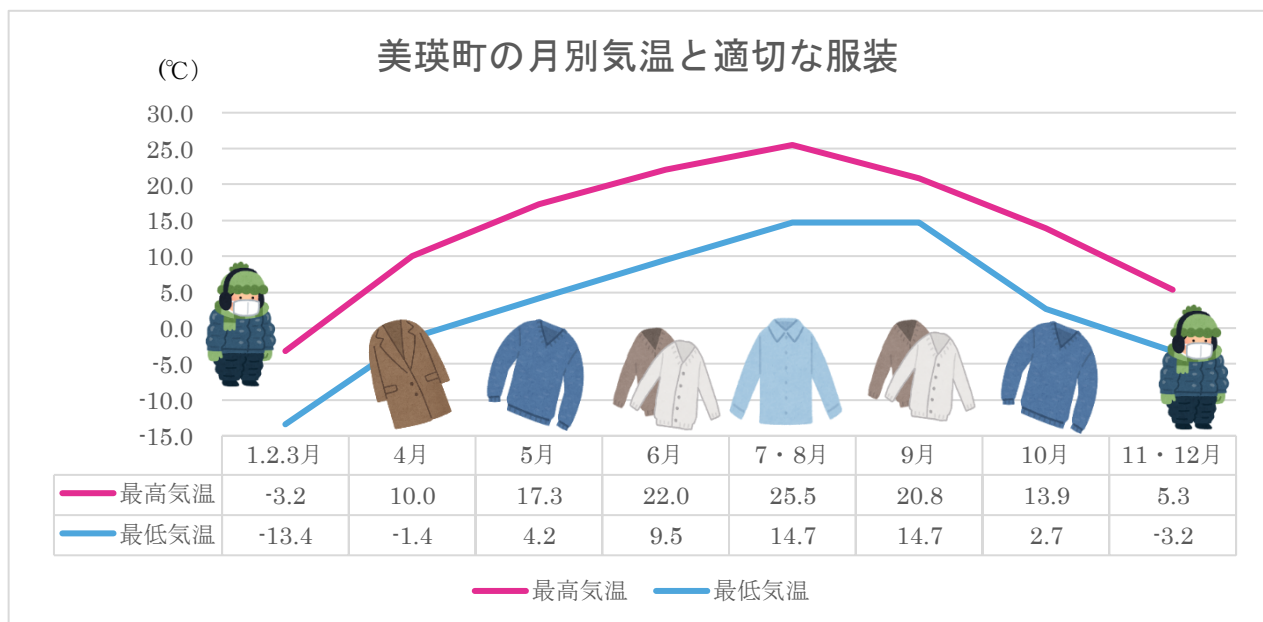
○明るいあいさつ

あいさつはコミュニケーションのスタートです。出会った人との交流を楽しみましょう。

○しっかり清掃

自分たちが使った施設を、次の人のためにきれいな状態でバトンタッチ。
「来た時よりも美しく」を合言葉に、思いやりの輪を広げましょう。

当施設がある美瑛町は、北海道のほぼ中央に位置し、なだらかに丘が広がる美しい自然景観を有しています。寒暖の差が激しい内陸性気候であり、夏は30度を超えることもある一方で、冬はマイナス20度以下にもなります。そのような四季の移り変わりを楽しむことができる点も、魅力の一つです。



参考：美瑛町観光協会 HP (https://www.biei-hokkaido.jp/ja/about_biei/)

標高600メートルを超える位置に建つ施設のため、平地よりもさらに寒暖の差の激しい環境の中で、美しくも厳しい自然を体感しながら、活動を行うことができます。

02 | 利用について

(1) 利用できる団体

当施設は、学校・青少年団体・サークル・企業などをはじめ、家族や友人などの少人数のグループでも、2名以上であれば、どなたでもご利用いただけます。社会性・公共心育成のため、食事の配膳・片付け、寝具の準備・返却、宿泊棟や活動した部屋の清掃等は、利用者に行っていただくこと、標準生活時間に沿った活動を組んでいただくなど、施設独自の生活・時間があることをご理解の上、お申込みください。

(2) 利用形態

宿泊利用、日帰り利用が可能です。

(3) 利用目的

当施設の施設・設備を利用して様々な活動ができます。研修の目的に合わせたプログラムを提供いたします。

- 集団宿泊研修、自然体験、生活体験、文化体験、奉仕体験、オリエンテーション、新入社員研修、リーダー研修、修学旅行、スポーツ、レクリエーション等
- ゼミナール、サークルの合宿、部活動、勉強合宿、仲間づくり、親睦活動、ボランティア活動等

なお、活動内容として、専ら営利を目的とした活動、政治的活動、宗教的活動を行うことはできません。

(4) 休館日

年末年始（12月28日～1月4日）（12月28日が退所日である場合は利用可）
その他、施設点検・整備等のため休館日を設けており、利用できない場合があります。
詳しくはHPにてご確認ください。

～交流の家送迎バス 大型バス（41人乗り）・マイクロバス（19人乗り）の利用について～

- バス申請は、「バス利用申請書」の提出をもって、受理します。
- 原則、団体の人数が15名以上の場合で、1団体1台のみ送迎バスのご利用ができます。
- 原則、交流の家から概ね1時間以内（片道50キロ）の運行とし、
交流の家出発時刻が8時30分以降、交流の家到着時刻が15時30分以前の運行となります
- 以下の期日までに「バス利用申請書」を提出してください。他団体と調整し、期日と同月の10日頃を目途に運行を決定します。提出期日を過ぎた申請については、運転手の手配が可能場合のみ受け付けます。

利用開始日	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
提出期日	2月1日	5月1日	8月1日	11月1日

- 交流の家と目的地以外の、途中乗車・降車はできません。
- 運行料金を交流の家で算出し、徴収いたします。毎年度変動しますので詳しくはHPをご覧ください。
令和5年度 大型バス：1kmあたり25円、マイクロバス：1kmあたり12円
- 宿泊利用に係る入退所の運行を優先し、交流の家が活動プログラムとして定めている活動場所への運行は、研修プログラム調整時に合わせて調整し、運転手の手配が可能な時のみ受け付けます。

交流の家イメージキャラクター

【たびうさぎ】の紹介



「たびうさぎ」は、開所50周年にあたる2016年に、北海道にお住まいの小学生～高校生を対象とした公募によって、313にも及ぶ候補の中から選出され、誕生しました。十勝岳連峰に生息する「ナキウサギ」をモチーフとしたキャラクターで、各地を巡りながら多くの人との出会いや交流・体験を重ね、成長していく「旅（たび）」の意味が込められています。また、十勝岳の麓に位置する当施設をイメージし、【美瑛富士・美瑛岳・十勝岳】の形をした帽子には、「SINCE 1966」の文字が刻まれています。また、リュックサックには所章が描かれています。

当施設の広報大使として皆様とともに体験の風をおこすために日々邁進していきます。どうか、皆様のお力添えや温かい応援のほど、よろしくお願いいたします。

色々な場所を旅して、みんなに会いに行くよ！よろしくね♪
みんなで大きな体験の風をおこそう！

Ⅱ. 利用に必要な手続き

01 受付開始の時期

原則、利用開始日の**1年前～40日前**までに申込みください。
※詳しくは電話・メール等でお問い合わせください。



02 利用申込手続きの流れ

利用申込の受付

電話・メール・WEBにて空き状況を確認してください。
宿泊施設の空き状況の確認ができれば、原則、**40日前**までにWEBにて予約をしてください。(利用人数・活動目的等)
当施設からの予約完了メールをもって予約完了となります。

※当施設WEBサイトから
宿泊施設空室状況の確認
・予約ができます。



※空室状況はこちら

利用申込書等の提出

利用が可能な場合は、受付を進めます。
以下の書類をメール、郵送等で提出してください。

○必ず提出する書類(4種類)

- ①利用申込書 ②利用者一覧表 ③利用計画書
④食事申込書(レストラン食・お弁当・野外炊事)

○必要に応じて提出する書類(3種類)

- ⑤アレルギー連絡表
⑥登山計画書・軽登山計画書・ジオハイキング計画書
⑦プログラム材料申込書

<お願い>
期日内に提出していただいた申込書を元に、他団体との活動
場所や時間などの調整を行います。期日まで提出ください。
※期日に提出した団体を優先して調整させていただきます。

※利用申込書の様式は、当施設WEBサイトから
ダウンロードできます。

～提出期限～

- | | | | |
|--|---|---|-------------------------------|
| ①利用申込書 | } | ⇒ | 利用日の
40日前まで
(必着) |
| ③利用計画書 | | | |
| ④食事申込書 | | | |
| ②利用者一覧表 | | | |
| ⑤アレルギー連絡表 | } | ⇒ | 確定次第すぐ |
| ⑦プログラム申込書 | | | |
| ⑥登山計画書 | } | ⇒ | 2週間前まで
(必着) |
| 軽登山計画書 | | | |
| ハイキング計画書 | | | |
| ※「登山計画書」のみ、必ず北海道警察旭川方面本部地域課にも提出する(FAX) | | | 日程が決まり次第
提出 |

利用に関わる事前打合せ

より充実した活動計画を作成するため、プログラム相談、施設見学や、事前踏査等の事前相談・打合せを行っています。希望団体は、事前に電話で**打合せ希望日時を予約**してください。

研修プログラム等の受領

利用申込書の受理後、他団体とのプログラム調整のため、
当施設の担当者から連絡があります。
(宿泊棟の割当や研修場所、研修時間等の利用に関わる
お知らせや研修プログラムなどを送付します。)

※お互い譲り合って利用していただくことを基本
としています。他団体との調整になりますので、
計画書通りになるとは限りません。必ず
内容を確認してください。

書類提出先 ○国立大雪青少年交流の家
〒071-0235 北海道上川郡美瑛町字白金 TEL:0166-94-3121 FAX:0166-94-3223
MAIL: taisetsu-suishinshitsu@niye.go.jp
○北海道警察旭川方面本部地域課 FAX:0166-31-4171 ※「登山計画書」のみ

03 利用料金について

(1) 施設使用料・シーツ等洗濯料

(全て税込)

利用区分	宿泊室タイプ	シーツ等洗濯料	施設使用料	合 計
青少年団体とその指導者・引率者 ・幼稚園、保育所、認定こども園等 ・小中高等学校、大学、専門学校等 ・スポーツ少年団、子ども会等 ・部活動、サークル活動等 ・家族(29歳以下の利用者と一緒の場合)	宿泊室利用	300 円	無料	300 円
	講師室利用		1,220 円/泊	1,520 円
一般団体(上記以外の団体)	宿泊室利用		900 円/泊	1,200 円
	講師室利用		2,120 円/泊	2,420 円

※日帰り利用の場合、施設使用料は無料です。

(2) 食事料金

(全て税込)

		中学生以上	小学生	3歳以上・未就学児	2歳以下
レストラン食	朝 食	540 円	530 円	410 円	無 料
	昼 食	660 円	650 円	500 円	
	夕 食	860 円	840 円	630 円	
	合 計	2,060 円	2,020 円	1,540 円	
お弁当 ・ 飲料	パンセット	500 円	*パン2つ、飲料水		
	おにぎりセット	560 円	*おにぎり2つ、携行食（ベビーチーズ、魚肉ソーセージ）、飲料水		
	仕出し弁当	770 円	*季節により、内容が変更になります。 ※飲み物なし		
	コンビニ弁当	670 円	*季節により、内容が変更になります。 ※飲み物なし		
	水	130 円			※ペットボトル
	ソフトドリンク	180 円	お茶、スポーツドリンク		
野外炊事食 (一人当たり)	カレーライス	600 円	米、玉ねぎ、人参、じゃがいも、豚肉、福神漬調味料（カレールー、食用油）		
	豚汁 & ごはん	600 円	米、豚肉、人参、じゃがいも、ごぼう、大根、長葱、豆腐油揚げ、こんにゃく、調味料（味噌、粉末だし、食用油）		
	クリームシチュー & ライス	600 円	米、玉ねぎ、人参、じゃがいも、豚肉、コーン調味料（食用油、シチュー、バター）		
	※全メニュー内容にフルーツとお茶パックがついてきます。				

※食事料金や野外炊事の食材は予告なく変更する場合がありますので、HP で確認ください。

食数変更・キャンセルについて

☆レストランの食数変更は、前日の 17:00 までです。(全キャンセルは、7 日前の 17:00 までです。
 ※1 週間前の 17:00～前日の 17:00 までのキャンセルは 30%、前日の 17:00 以降の全キャンセルは 100%徴収いたします。
 ☆野外炊事・お弁当等ともにキャンセル・食数変更は 7 日前の 17:00 です。
 ※7 日前の 17:00 以降は 100%を徴収いたします。

留意事項

- ① お弁当は 2 食から、野外炊事は 5 名～60 名まで注文することが可能です。
- ② 弁当の受け渡しは当日 7:30～8:30 又は 10:30～11:30 の間でレストラン内で受け渡しとなります。
 ※パンセットのみ前日夕方の受け渡しが可能です。レストランに直接ご相談ください。
- ③ お弁当・飲料には、小分け用の袋は付いておりません。また、弁当等は一括でお渡しするため、小分け作業が発生しますので袋をご用意いただき、団体内で作業をお願いいたします。
- ④ 野外炊事については同一団体で、同じメニューを注文してください。

(3) 活動費

【屋外活動】

品名	単価
野外炊事	・ 薪 (300 円/束) ・ ガスボンベ (300 円/本) ※荒天時のみ
軽登山 (ウグイス谷～溪流広場往復)	★指導料 (3,000 円) ※職員が同行する場合のみ
軽登山 (ウグイス谷～望岳台)	★指導料 (7,500 円) ※職員が同行する場合のみ
軽登山 (原生林～望岳台～白金コース)	★指導料 (8,250 円) ※職員が同行する場合のみ
軽登山 (ウグイス谷～望岳台)	★指導料 (4,500 円) ※職員が同行する場合のみ
軽登山 (原生林～望岳台)	★指導料 (5,250 円) ※職員が同行する場合のみ
キャンプファイヤー	・ セット一式 (薪、灯油、トーチ等) (2,000 円)
スノーシュー ※R6 年 1 月～適用	・ レンタル料 (スノーシュー、ストック) (300 円)
クロスカントリースキー ※R6 年 1 月～適用	・ レンタル料 (板、ストック、ブーツ) (400 円)

【屋内活動】

品名	単価
七宝焼き	・ キーホルダー (四角) 650 円/個 ・ キーホルダー (丸形) 650 円/個 ※在庫がなくなり次第、提供終了予定 ・ ストラップ (ハート) 650 円/個 ★指導料 (2,250 円) ※必須
焼き板クラフト	・ 焼き板 300 円/枚
プラ板クラフト	・ プラ板 150 円 (3 枚セット)
アロマキャンドル	・ 150 円 (2 個入り)
レザークラフト	・ 長角型 250 円/個 ・ 星型 250 円/個 ・ ストラップ型 500 円/個
缶バッジ	・ セット 150 円/個
マイスプーン作り	・ スプーン 300 円/本 ★指導料 2,250 円 ※必須
キャンドルファイヤー	・ キャンドル (14cm) 20 円/本 ・ キャンドル (10cm) 10 円/本 ・ キャンドル (大) 500 円/本

※指導料は、職員が一人ついた場合の金額です。

※活動プログラムの内容については、「活動プログラム一覧」をご覧ください。

Ⅲ. 交流の家での生活

01 標準生活時間

当施設では、ご利用する団体同士が気持ちよく生活したり活動したりするために設定された一日の基本の生活時間があります。利用期間中は、つどいへの参加や、決められた食事・入浴・就寝などの時間を守り、規則正しい生活を送りましょう。

6:30	7:00	7:30	9:00	12:00	13:30	16:45	17:00	17:20	19:00	22:00	22:30
起 清 床 掃	さわやか タイム	朝 食	研 修	昼 食	研 修	リ ー ダ ー 会 議	ゆ ー す び あ タイム	夕 食	研 修	就 寝 準 備	就 寝
※清掃、点検 8:45～					温泉入浴 13:00～22:00					※22:30 消灯	

02 持ち物

- ・館内は土足厳禁のため**必ず上靴を持参**してください。
- ・その他、活動や宿泊に関して必要と思われるものをお持ちください。

03 入所について

○ **9:00～16:00の間に入所**してください。

- 事前に指定された玄関・下足箱をお使いください。
- 車は、本館奥の利用者駐車場をご利用下さい。(下図参照)
※夏季・冬季で場所が入れ替わりますので、ご注意ください。
- 借り上げバスで来所の場合、正面玄関前での乗降車が可能です。



(1) 入所時の受付 (10～15 分程度)

- 代表の方は、事務室で入所の手続きをしてください。
- 事前にお送りした研修プログラム等の資料をお持ちください。

- ・人数、プログラムなどの確認
- ・料金の支払いに関する確認
- ・宿舍の鍵の受渡し
- ・生活のルールの確認 など

(2) 入所式・オリエンテーション (5分～20 分程度)

- 入所式等で、職員からのあいさつが必要な場合は、事前にお知らせください。
- オリエンテーションは、交流の家職員が、施設内での基本的なルールや生活の仕方などについて説明します。事前にお渡しする資料を使い、来所前に団体内で実施することも可能です。

(3) 入室・シーツ受取

- シーツと枕カバーは、リネン室に団体毎に用意しています。**15:30以降**に取りに行ってください。
- 一人シーツ2枚、枕カバー1枚です。
- 長期宿泊の場合、衛生面の理由から6泊目ごとにシーツ交換となります。(例：12泊なら2回交換)
- 宿泊棟に入室できるのは、原則15:00以降**となります。
(荷物置場や着替え場所として、15:00以前に使用できる場合がありますので、ご相談ください。)

04 | つどい（さわやかタイム・ゆーすぴあタイム）について

つどいは、規則正しい生活の基準となります。当施設を利用している団体同士の交流の場でもありますので、ご参加ください。宿泊団体が1団体のみの場合は、実施いたしません。

さわやかタイム【7:00～】	ゆーすぴあタイム【17:00～】
①ラジオ体操 ②職員からの話	①国旗・所旗の降納（旗係2名） ②団体紹介（各団体の代表者） ③職員からの話

- 各つどいの開始前までに、掲揚塔に向かって団体毎に整列してください。
- 夏季（6月中旬～10月中旬）は、かんぽラジオ体操広場で行います。
冬季（10月中旬～6月中旬）又は荒天時は、体育館で行います。
- ゆーすぴあタイムでの旗係の役割分担は、事前の調整の中で連絡します。
係になった方は、開始15分前にかんぽラジオ体操広場/体育館で打ち合わせを行います。

05 | リーダー会議について

- 16:45～事務室で行います。各団体1名の出席をお願いします。
- 宿直者紹介、日程や宿泊人数の確認、体調不良者の有無、当施設からのお知らせなどを行います。
※研修などの都合で出席できない場合は、事前に連絡してください。その際は、事後に必ず事務室にお越しください。連絡事項をお伝えします。

06 | 入浴について

- 入浴可能時間は、13:00～22:00です。
- 浴室は大/小（洗い場38/20）があり、**宿泊する男女の人数を考慮し、男女の入換え**を行います。
1日の中でも途中で浴室の大小の入替をする場合があります。
- 温泉に入浴できない方は、シャワー室をご利用いただけますので、ご相談ください。
使用後は清掃をしていただきます。
- 浴室には、**石鹸やシャンプー等を備えていません。各自でご用意ください。**
- ドライヤーは、各脱衣所に2台ずつあります。
※宿泊室内は電圧が低いため、ドライヤーの使用はできません。
※宿泊棟各フロアにある洗面所では、各階2台まで使用することができます。

07 | 活動について

各団体のプログラムに沿って活動をしていただきます。天候の変化等による内容や活動場所の変更は、すみやかに事務室までお知らせください。

- 事前にお申込みいただいた各プログラムで使用する購入物品は、事務室でのお渡しとなります。
使用する道具は、活動場所に用意しております。
- 各プログラムで、**職員による指導を希望する場合は**、利用計画書に記入の上、**事前にご相談**ください。
状況により、職員による指導が行えない場合があります。
※職員が指導を行う際、指導料が必要な場合があります。詳しくは、「活動プログラム一覧」をご覧ください。
- 野外活動等の際には、事務室で貸し出している無線機を携帯してください。緊急事態が起こった場合には、すみやかに本部である事務室と連絡を取り、指示を受けてください。
- 活動が終了したら、活動場所の整理整頓を行ってください。使用した用具の確認・返却及び清掃を行い、原状復帰に努めてください。

08 | 食事について

(1) レストラン「サーティ」の利用方法

～セルフサービス形式です～

盛り付けから片づけまで自分で行っていただく、セルフサービス形式です。利用人数が少ない時に（概ね10名以下）は、盛り付け食になることがあります。



おかずコーナー

おぼんを1枚とって、お皿やはしをとります。
ビュッフェレーンに置かれた料理の大皿から、各自が食べられる量をトングで盛り付けます。
品目によっては、個数制限がございますので表示をご確認下さい。



主食（ごはん・汁物・麺類）コーナー

ご飯・汁物は毎食、麺類は昼食時のみ提供です。
各自で、しゃもじやお玉で盛り付けます。カレーが提供される場合、カレーもこのコーナーにあります。



飲みもののコーナー

カウンター近くのドリンクバーをご利用ください。（水やお茶もあります。）
牛乳（朝食時のみ）は、カウンター側に置いてあります。
盛りつけた食事を席に置いてから飲み物をとりに行きます。
※使用するカップは、一人1つまでにしてください。



食 事

後片付け

- ① おぼんをもって、片付けレーンに行きます。
- ② はし、スプーンを所定の場所に入れます。
- ③ 食べ残しや飲み残したものをザルに入れます。
- ④ コップをかごに入れます。
- ⑤ ゴミを捨てます。
- ⑥ 食器を水槽に入れ、おぼんを棚の下に置きます。
- ⑦ 布巾で使用したテーブルを拭き、椅子を元の場所に戻します。



(2) レストラン利用に関わっての注意点

- 座席数は、256 席です。(8 席×32 テーブル)
- 食事時間は、利用団体の状況に応じて団体ごとに調整しています。
- レストランの利用時間は、
朝食 (7 : 30 ~ 9 : 00)、
昼食 (12 : 00 ~ 13 : 30)、
夕食 (17 : 20 ~ 19 : 00) です。営業時間内での利用をお願いします。
- レストランでは、団体ごとの座席指定は行っていません。団体同士で譲り合ってください。
- 衛生管理上、食事の前の手洗いを徹底してください。
- レストランで提供している食事や飲み物の持ち出しやレストラン外からの食べ物の持ち込みは、原則禁止です。特別な事情がある場合は、レストランスタッフにご相談ください。
- 食育の観点から、各自で食べられる量を考え、残食のないようにしながら、バランスよく食べることを推奨しています。指導者の方は、主食・副菜をバランスよく取るように指導してください。

(3) 食物アレルギーへの対応について

- レストランメニュー及びアレルギー情報については、当施設ホームページで公開しています。(レストラン入口にも掲示されています。)
- お弁当については、外部の業者に委託しておりますので、アレルギー対応はできません。お弁当の内容やアレルギー情報については、レストランに直接お問い合わせ下さい。

- ◆基本は、普通食からの除去・代替食の対応です。
- ◆7 大アレルギー (卵、乳、小麦、落花生、そば、かに、えび) のみ対応します。
- ◆団体の責任の下、自分たちで取り分ける場合には、以下の点に注意してください。
 - ・ビュッフェ形式のため、隣の料理が混入する可能性があります。
 - アレルギーの程度によって事前に盛り付けておく必要があれば、ご連絡ください。
 - ・揚げ油や調理器具など、調理上のコンタミネーション (混入) があります。
- ◆除去食品が多い場合や、アナフィラキシーショック等の重篤な症状を起こす可能性がある方は、万が一の可能性を考慮し、止むを得ず対応をお断りする場合があります。その場合は、ノンアレルギー食品やお弁当等を持参してください。

- アレルギーをお持ちの方の情報について、「食物アレルギー連絡表」に必要事項を記載の上、ご利用の 2 週間前までに提出してください。
※2 週間を過ぎると、食材調達・調理準備の都合上、対応ができない場合があります。
- より詳細な情報を記入する「食物アレルギー事前確認表」の提出をお願いする場合があります。持込み対応が必要な場合には、「持参品対応表」の記入もお願いします。
- 連絡表はできる限り、ご本人のアレルギー状況を把握している方 (保護者、養護教諭など) に確認し、記入いただいた上で提出してください。
- アレルギー事前連絡票の情報に従って、レストラン担当者から対応方法や詳細等をご相談します。

～利用当日の食事の提供方法～

- ◆食物アレルギーをお持ちの方の食事は、対応が必要な方とアレルギー状況を把握している方が団体の先頭に並び、レストラン職員にお声がけいただき、対応食を確認してください。
- ◆他の調理器具や盛り付け用の皿とは別に準備し、十分な消毒を行った上で、調理・盛り付けを行っています。調理作業も、他の食材が混ざらないよう、別の場所で専用の調理員が調理を行っています。

食物アレルギーに関するお問い合わせ【コンパスグループ・ジャパン (株) 大雪店】

TEL: 0166-68-1116 FAX: 0166-68-1117 MAIL: 21483@compass-jpn.com

※休館日又はレストラン利用のない日等、電話が繋がらない場合があります。メールでご用件をご連絡ください。

09 生活環境について

(1) 貴重品の管理

○貴重品の管理は各団体の責任において行ってください。

必要に応じ、コインロッカー（100円コインリターン式）をご利用ください。

○研修等で宿泊棟を空ける場合は鍵をかけ、施設の外に出る場合は、事務室に鍵を預けてください。

○安全管理上、割り当てられた宿泊棟以外には入らないようにしてください。

～落とし物について～

- ◆落とし物を発見した場合、事務室へ届けてください。日用品等は、ゆーすぴあホール前の忘れ物置き場で利用者全員に周知します。
- ◆落とし物をした場合、ゆーすぴあホール前の忘れ物置き場か、事務室に届いていないか確認してください。
- ◆退所後に気付いた場合、当施設へお問い合わせください。返却は、当施設に取りに来ていただくか、宅配便（着払い）で対応します。
- ◆貴重品は一週間で警察へ届出し、その他のものについては、3か月後持ち主が見つからなければ廃棄します。

(2) 飲食・喫煙

○館内での飲食は、【ゆーすぴあホール】【本館3階ロビー】【宿泊棟内の談話室または談話コーナー】のみでお願いします。廊下や宿泊室内での飲食は厳禁です（体育館や研修室での水分補給等は可）。また、館内を含む敷地内ではガムは禁止です。

○飲食物を持ち込む場合は、事前にご相談ください（生ものは不可）。お弁当を持参して食事をする場合はご相談ください。

○アルコールを含むミーティング等を計画する場合は、事前申請が必要です。その旨を利用計画書に記載してください。また、実施の際は、以下の点を守って実施をしてください。

- ・研修の一環として認められるプログラムであるため、他団体への配慮をすること。
- ・危険防止のため、飲酒前に入浴すること。
- ・19:00～21:30の間で実施をすること。
- ・指定された場所で行うこと。

著しく常軌を逸していると判断される場合、実施が認められない場合もあります。

○館内は禁煙です。喫煙する場合は、本館1階外の喫煙室（プレハブ小屋）をご利用ください。

（22:00～6:30まで施錠されています。）

(3) ごみの処理・分別

○活動中に出了ごみ、持参したお弁当のごみなど、分別されたものに限り交流の家で処分することができます。指定のごみ袋はありません。団体でまとめ、本館1階のごみ捨て場にお持ちください。

○交流の家でのごみ分別は、以下の4つに大別されています。

ペットボトル ・ 空き缶 ・ 空きびん ・ その他のごみ

⇒必ずペットボトルのラベルとキャップを外し、その他のゴミに分別してください



(4) 暖房

○暖房が入る期間 ⇒ 10月1日～5月20日【6:30～22:00】で、外気温が13℃以下の場合。

○暖房が入る時間は、研修室及び宿泊棟の利用時間中のみとなります。

廊下や使用予定のない部屋は暖房が入りませんので、暖かい服装をご用意ください。

(5) 健康管理

<利用前の段階>

- ・交流の家での医療行為・医薬品の提供はできませんので、救急薬品等は各団体でご用意ください。

<滞在中の保健指導>

- ・引率責任者は、**参加者の健康状態を把握**し、健康状態に異常のある方がいる場合、速やかに事務室へお知らせください。毎日のリーダー会議で、団体ごとの健康状態を確認します。

- ・感染症の拡大防止のため、嘔吐や下痢の症状が出た場合は、すぐ事務室へお知らせください。

(嘔吐物は処理キットをお渡ししますので団体内で対応ください。)

感染症等が想定される場合は、別途指示いたします。

- ・事務室内にある「医務室」を利用することができます。その場合、**別途シーツ等洗濯料がかかります。**
- ・AEDは事務室前と浴室前に**2台設置**されています。使用が必要な場合は、事務室までご連絡ください。
- ・冷却用の氷が入った製氷機(**飲食用では使用できません**)は、ゆーすぴあホールにあります。アイシング用の氷嚢は、事務室でお貸しすることができます。

※製氷機の氷は、アイシングのみに使用してください。

<医療機関への連絡>

- ・傷病人が出た場合は、当施設から医療機関に連絡します。**医療機関への搬送は各団体**でお願いします。また、医療機関受診後、診断結果やその後の対応などを事務室にお知らせください。

(6) その他

○設備の破損や施設の物品を紛失した場合は、すみやかに事務室にご連絡ください。

場合によっては、弁償していただくことがあります。

○館内放送は、緊急時連絡用です。団体の諸連絡目的では使用できません。また、外部からの電話の取り次ぎも行っておりません。外部からの電話があった場合は、内容をお伺いし、団体代表者又は連絡担当者の方にお伝えします。なお、館内に公衆電話はありません。

○自動販売機は、ゆーすぴあホールと浴室前にあります。(清涼飲料水・アイス・お菓子)

利用人数が多い場合、売り切れになることもありますので、事前にレストランに注文していただくか、団体で準備してください。

○コピーは事務室で承っています。(白黒A4・A3⇒1枚10円、カラーA4⇒1枚50円・A3⇒1枚80円)

施設使用料等とまとめて、退所日の精算となります。

○荷物発送(原則、着払いのみ)、受取は事務室で受け付けます。

○宿泊棟には**無料で使用できる洗濯機**があります。割り当てられた宿舎の洗濯機をご利用ください。なお、洗剤はご持参ください。

○Wi-Fiを使用できる場所は下記の場所になっています。回線の状況によっては接続しづらい場合がありますので、ご了承ください。(場所:本館3階、本館2階第2～6研修室、本館2階ゆーすぴあホール、講師棟)

○館内を含む敷地内にペット等の動物を連れてくることはできません。ただし、補助犬等の場合は、事前にご相談ください。

10 宿泊に関わって

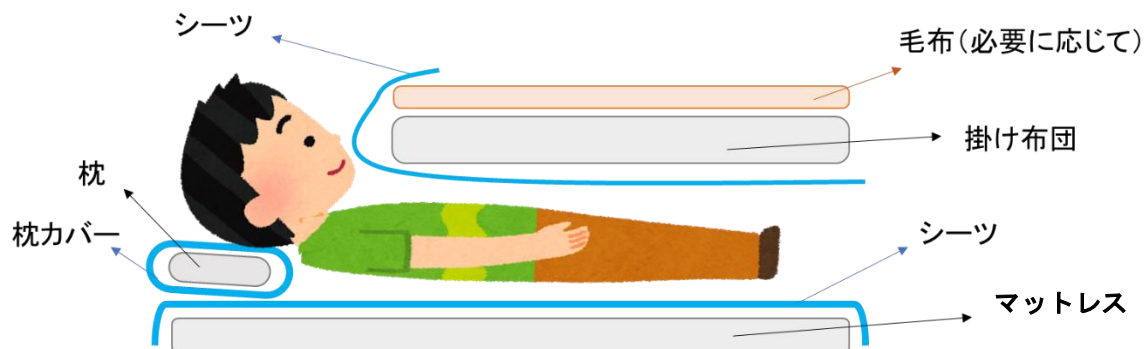
(1) 寝具等の使用方法

○宿泊棟の掛け布団は「羽毛」、毛布は「羊毛」、枕は「ポリエステル」を使用しています。

※**羽毛アレルギー対応としてポリエステルの布団**もあります。アレルギー対応が必要な場合は、**利用申込書とアレルギー連絡表にご記入の上、交換が必要な部屋をお知らせください。**対象の部屋の方は、個人でリネン室からアレルギー対応布団（ポリエステル布団）をお持ちください。

○シーツ2枚、枕カバー1枚を一名分として用意しています。団体代表者又は連絡担当者がリネン室で枚数を確認して配布してください。

○シーツ・枕カバーは、下図のように使用してください。



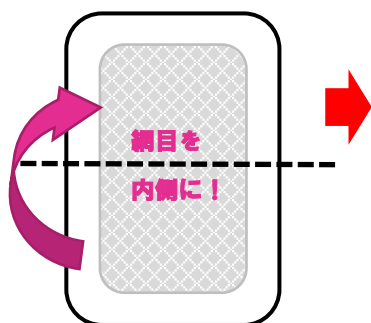
(2) 寝具の整とん

ベッド室 (A・C・D・E棟) の場合

※掛け布団・毛布は、たたむ前に粘着カーペットクリーナーなどを使って毛髪などを取り除いて下さい。

①掛け布団のたたみ方・戻し方

掛け布団は2つ折り
(1回たたむ)



掛け布団は部屋の窓側に寄せる
※ベッドパットはたたまない

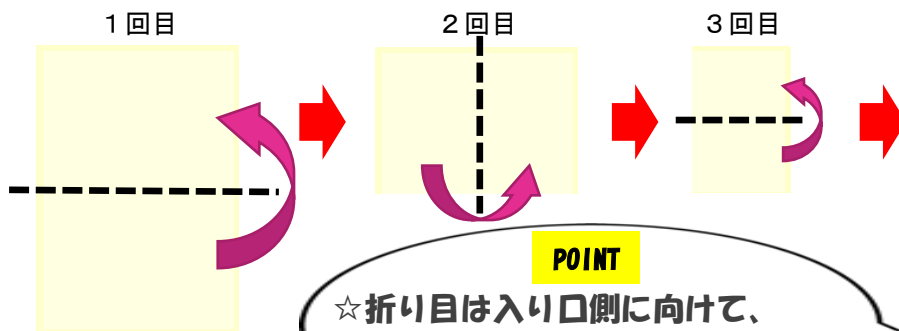


POINT

- ☆掛け布団の折り目は、**入口側に向けましょう!**
- ☆枕は、**たたんだ掛け布団の真ん中に置きましょう!**

②毛布のたたみ方・戻し方

毛布は8つ折り
(3回たたむ)



POINT

- ☆折り目は**入り口側に向けて、キレイにそろえて置きましょう!**

ハンガーかけの下に置いて
部屋の窓側に寄せる

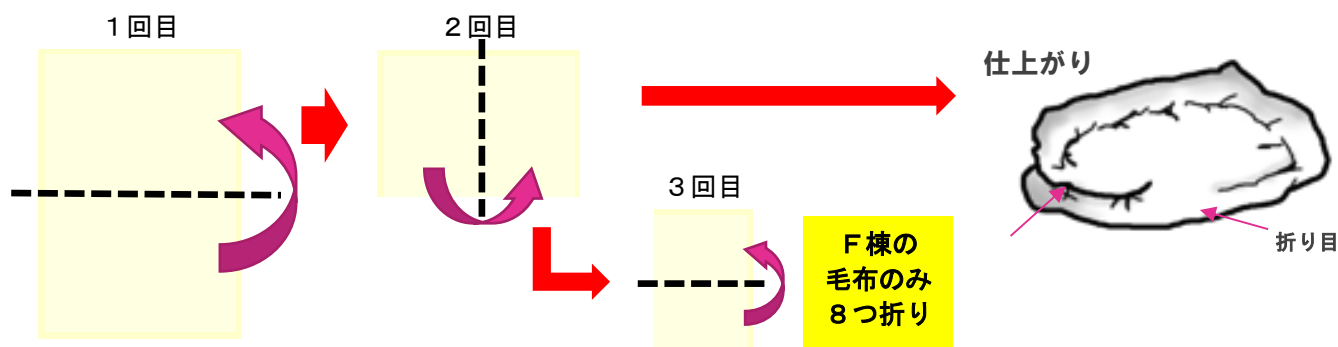


和室（B・F棟、各棟談話室、談話棟、本館3階和室）の場合

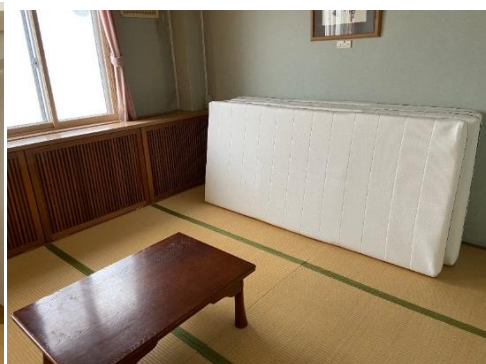
※掛け布団・毛布の髪の毛は粘着カーペットクリーナーなどを使って取り除いてください。

① 掛け布団、毛布のたたみ方

掛け布団・毛布は4つ折り（F棟の毛布のみ8つ折り）にします。（掛け布団の網目は内側にします）



② 片付け方



POINT

- ☆全員分の掛け布団、毛布の向きを揃えて入れる！
- ☆押入れを開けたとき、折り目が見える向きに入れる！
- ☆マットレスは、元あった場所に立てかける！

※部屋によって片付け方が違いますので、各部屋に掲示してある写真を参考にしてください。

（3）講師棟について

- ① 講師棟のご利用は団体の指導者・引率者等に限りま。なお、安全管理のため団体の宿泊棟に指導者が一人以上宿泊するようお願いいたします。
- ② シーツ・枕カバーは、お部屋のベッドに置いてありますので、ご利用ください。
- ③ ユニットバスが1階にあります。部屋清掃の関係上、最終日のご退室は午前9時までにはお願いします。なお、使用後は次の方のために、バスタブ等を軽く洗ってください。

※講師棟宿泊者のみが利用できます。

- ④ 講師棟2階ロビーに、アメニティグッズを配置してありますのでご利用ください。

なお、講師棟宿泊者以外の方は使用できません。

種類	置いてある場所	返却場所	備考
歯ブラシ	講師棟2階棚	—	1人1日1個
タオル・バスタオル		講師棟2階返却ボックス	1人1日1セット
シャンプー・リンス・ボディーソープ		講師棟2階棚	使用後は元の場所へ御返却ください。

- ⑤ 講師棟2階ロビーの冷蔵庫は、ご自由にお使いください。なお、取り間違える可能性がありますので、団体名を書くなどの対応をお願いします。
- ⑥ 退室時は、以下についてご協力ください。
 - ・シーツ・枕カバーは、本館2階ゆーすぴあホール内リネン室のランドリーボックスへ入れます。
 - ・使用済バスタオルは講師棟2階ロビー返却ボックスへ入れます。（フェイスタオルは持ち帰り可）
 - ・鍵を事務室に返却します。
- ⑦ 講師棟内では、Wi-Fiを整えております。

(4) 清掃について (部屋点検)

原則、退所日の朝 8 : 45 以降の指定した時間に、職員による点検を行います。
プログラムの内容上、点検の時間帯に変更が必要な場合は、事前にご相談ください。
また、団体の要望に合わせてセルフチェックも実施しています。

～出発日の起床から部屋点検までの流れ～

6 : 30～ 起床・身支度、寝具整頓、荷物移動・シーツ返却

- 毛布・布団などの髪の毛は、カーペットクリーナーなどで取り除いてからたたんでください。
- シーツは軽くたたみ、リネン室のランドリーボックスへ入れてください。
※血液等で汚れてしまった場合は特殊洗濯が必要ですので、ランドリーボックスには入れず、必ず事務室へご連絡ください。
- 事前に指定された場所に荷物を移動してください。(整頓して置いてください。)

7 : 00～ さわやかタイム

7 : 30～ 朝 食

宿舎清掃

「清掃要領」を確認しながら、以下の場所の清掃を行ってください。
【宿泊室、洗面所、トイレ、宿泊棟前廊下・階段】+ごみ箱の処理、清掃用具のごみ処理
※宿泊していなくても、使用した部屋は点検対象となります。

団体内でのチェック (引率者による清掃点検、忘れ物確認)

必ず、引率者や指導者が団体内で清掃点検表 (リーダー会議で配布) の項目を確認してから、職員による部屋点検を受けてください。

8 : 45～ 宿舎点検 (職員立ち合いによる)

- 団体ごとに指定された時間に職員がお伺いします。
- 宿泊棟ごとに数名残り、点検の立ち合いをお願いします。
- 点検に残る方以外は、次の活動場所やゆーすぴあホールなどで待機してください。
- 点検後、施錠をせず事務室に部屋の鍵を返却してください。

11 退所について

(1) 退所時の手続き (10分程度)

○代表の方は、**退所日の8:40以降**に、事務室で退所の手続きをしてください。

入所時にお渡ししたファイルと以下の書類を記入の上、お持ちください。請求書を発行します。

- ・利用団体票
- ・アンケート用紙
- ・宿舎の鍵の返却 ※貸し出ししている場合のみ

○退所日は、**原則16:00**までに退所するようにしてください。

(2) 退所式

○退所式を実施される団体で、職員からのあいさつが必要な場合は、事前にお知らせください。

(3) 支払いについて (5～15分程度)

○「シーツ洗濯料」「施設使用料」「講師棟施設使用料」「クラフト等代金」「バス利用料」の請求書を事務室で発行します。その請求書を持って、レストラン精算所へ行き、支払い手続きを行ってください。

○食事料金はレストラン精算所で、請求書が発行されますので、清算してください。

※「当日払い(現金払い)」か「後日払い(銀行振込又はコンビニ払い)」が選択できます。

【当日払い】レストラン精算所にて現金でお支払いください。

【後日払い】請求書を発行しますので、指定された口座にお振込みください。(請求書発行日から1カ月以内)

手数料は団体で負担していただきます。

○レストラン精算所の営業時間は、**8:40～10:30**です。

○個人での支払いには対応できません。団体でまとめてお支払いください(内訳は明記することができます)。また、団体内で清算を別にしたい場合や領収書を別にする必要がある場合は、必ず事前にご相談ください。

12 安全管理について

宿泊室、活動施設では、近くの避難通路・非常口を確認してください。

(1) 火災

【火災警報装置などによる警報がなった場合】

- ・館内放送または職員からの指示に注意し、いつでも避難できるように備えてください。

【火災発生の放送が入った場合】

- ・館内放送または職員からの指示や、団体のリーダーの指示に従って、慌てずに避難してください。

【火災を発見した場合】

- ・近くの火災通報装置で通報を行い、慌てずに避難してください。
- ・火災の発生場所によって、一次避難場所が変わりますので、館内の放送に従ってください。

一次避難場所

- ① かんぽラジオ体操広場 ② 正面玄関
(階段下)

(2) 地震

○地震が発生した場合は、以下のような身を守る行動をとり、館内放送または職員からの指示に従ってください。

屋内……………窓ガラス・壁際から離れ、頭を守ってかがんでください。

屋外……………建物等から離れ、頭を守ってかがんでください。

○余震が続く場合がありますので、一時活動を中止し、館内放送・職員の指示に従って行動してください。

○緊急地震速報の速報が入った場合は、館内放送・職員の指示に従って、地震の発生に備えてください。

(3) 十勝岳の噴火

- 緊急火山情報等が発令された場合は、利用者の受け入れを停止することがあります。
- 十勝岳の活動は「レベル1」(活火山であることに留意。噴火の兆候はない)で推移していますが、宿泊中にレベル3(小・中規模噴火活動等)以上の噴火警報が発令された場合は、職員から緊急連絡を行います。

(4) 野外活動における安全対策

- 計画をする上で、**無理のない活動プログラムを選択**してください。(時間・人数・発達段階 など)
- 自然環境や気象条件**をしっかりと把握してください。熱中症などのリスクが考えられます。
- 事前に**実地踏査**を行い、危険個所の確認や休憩場所、引率の配置場所などを確認してください。
- 引率者の役割分担や**救急連絡体制を明確に**しておいてください。
- 野生動物の生息地**ということを忘れずに行動してください。

～出会うと危険な動物～

①ヒグマ

北海道にはヒグマが生息しており、当施設付近もクマの生息地です。遭遇する事故を未然に防ぎ、クマと共存していくことが大切です。

☆音を出したり、声を出してあるいたりして人間の存在を知らせ、出会わないようにする。

☆出会ったら…慌てず騒がず、クマを刺激しないように静かにし、その場を立ち去る。

無線機やクマ鈴、クマ撃退スプレーを貸し出しますので、活動前に事務室にお越しください。

②ダニ(マダニ)

大きさ2～3ミリ程度でササやぶなどに生息しています。近くを通る人間などに取りつき、皮膚に食い込み、血を吸います。ウィルス・細菌なども体内に送り込まれることがあるので危険です。

☆長袖・長ズボンで肌を出さない服装をする。首回りもタオルなどで隠すと効果的。

☆活動後は、服や首などに付いていないか、グループでお互いに確認する。

☆刺されたら…自分で引き抜かず、医療機関(皮膚科)で処置してもらう。

③ハチ

北海道において刺される被害は特に8～9月に集中しています。特に、オオスズメバチ・キイロスズメバチは攻撃性が強く、刺された部分は激痛をともなって腫れ上がり、場合によっては呼吸困難になったり、最悪ショック死したりする場合があります。

☆長袖・長ズボン着用で、肌を露出しない。

(黒いものに反応するため、白系や明るい色の服装を身に付け、帽子も着用する。香水やヘアスプレーなどもハチを刺激するため、付けないようにするのが望ましい。)

☆出会ったら…動くものに敏感ため、追い払おうとせず、身を低くしその場から静かに立ち去る。

☆刺されたら…きれいな水で患部を洗い流し、毒液をポイズンリムーバーなどで吸い出す。

虫さされの薬(抗ヒスタミン剤ステロイド軟こう)をぬり、速やかに病院の診察を受ける。

※クマ・ハチ・ダニに関する情報がありましたら、すぐに事務室まで連絡してください。

損害保険について

当施設を利用中(到着から出発まで)に、突発性・偶発的な事故によるけがで病院を受診した場合、国立青少年教育振興機構が加入している損害保険により、お見舞金が支払われる場合があります。滞在中にけがをされた場合は、必ず事務室までご連絡ください。

13 関係機関連絡先

	関係機関	電話番号
レストラン	大雪青少年交流の家レストラン 【コンパスグループ・ジャパン（株）】	0 1 6 6 - 6 8 - 1 1 1 6
医療機関	美瑛町立病院	0 1 6 6 - 6 8 - 7 1 1 1
	救急医療情報案内センター	0 1 2 0 - 2 0 8 - 6 9 9
	救急医療情報案内センター（携帯電話から）	0 1 1 - 2 2 1 - 8 6 9 9
公共機関	旭川東警察署	0 1 6 6 - 3 4 - 0 1 1 0
	美瑛交番	0 1 6 6 - 9 2 - 2 0 3 6
	美瑛消防署	0 1 6 6 - 9 2 - 2 0 2 9
	美瑛郵便局	0 1 6 6 - 9 2 - 1 1 3 2
	美瑛町役場	0 1 6 6 - 9 2 - 1 1 1 1
	森林管理署 美瑛事務所	0 1 6 6 - 9 2 - 2 0 6 3
観光	美瑛町観光協会	0 1 6 6 - 9 2 - 4 3 7 8
	びえい白金温泉観光組合	0 1 6 6 - 9 4 - 3 0 2 5
	道の駅「白金ビルケ」	0 1 6 6 - 9 4 - 3 3 5 5
	旭川空港観光案内カウンター	0 1 6 6 - 8 3 - 3 7 1 6
交通機関	JR 美瑛駅	0 1 6 6 - 2 2 - 1 8 5 4
	旭川駅（電話案内センター）	0 1 6 6 - 2 2 - 1 4 4 1
	道北バス（旭川）	0 1 6 6 - 2 3 - 4 1 6 1
	美瑛ハイヤー	0 1 6 6 - 9 2 - 1 1 8 1
	旭川空港ターミナル	0 1 6 6 - 8 3 - 3 9 3 9
その他	十勝岳火山砂防情報センター	0 1 6 6 - 9 4 - 3 3 0 1
	白金野営場（美瑛町経済文化振興課）	0 1 6 6 - 9 2 - 4 3 2 1
	丘のまち郷土学館「美宙」	0 1 6 6 - 7 4 - 6 1 1 6

○国立大雪青少年交流の家では、「子供の頃の体験は豊かな人生の基盤」となる
「体験の風をおこそう」運動、「早寝早起き朝ごはん」国民運動、
青少年の豊かな感性や表現力を育む「子供の読書活動」を推進しています。



○交流の家についての最新情報は、ホームページをご覧ください。
利用申込書等、各種資料等のダウンロードもできます。
ホームページ <https://taisetsu.niye.go.jp/>

検索

国立大雪青少年交流の家

○交流の家 Facebook でも、交流の家の天気・団体活動・教育事業の募集など、最新情報をお届けしています。
ぜひ「いいね！」をしてください。

Facebook

国立大雪青少年交流の家 所歌

作詞 花岡 博
作曲 米山正夫

明るく軽快に

しらーかばの はやしをゆけ ば
とかーちだーけ くもまによぶ よ
わこうどの わこうどの かーやく そのきほう
たくまし く いきるよろこび こーに わ く
ここに つどえ ば

